

「大学・まち・学生 むすぶプラン」の進捗状況(平成29年8月現在)

※方向性(分類)について

- A: 事業完了(平成28年度以前に事業が完了したもの)
 B: 事業継続(平成29年度以降も継続して事業を実施するもの)
 C: 事業規模拡大(Bに該当する事業のうち、予算額等を拡大して実施するもの)
 D: 事業縮小(Bに該当する事業のうち、予算額等を縮小して実施するもの)
 E: 事業実施予定(平成29年度に事業を開始する予定のもの)
 F: 検討中(事業未着手)

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	事業開始年度	方向性分類	平成28年度実績	平成29年度計画	局区等	所属		
1	学生が学ぶ環境の充実(リーディング施策)	(1) 「量から質へ」単位互換科目の魅力の向上	ア	京都だからこそ提供できる特色ある単位互換科目の開発	単位互換制度	他大学の科目を履修し、それを所属大学の単位として認定する。	H6	B	「京都世界遺産PBL科目」を6大学・6所有者により7科目を開講し、単位互換生28名を含む94名の受講登録者を得た。	「京都世界遺産PBL科目」は1科目増の6大学・6所有者による8科目となった。8科目の授業運営が円滑に行われるための支援を行う。	大学コンソーシアム京都	教育事業部
			イ	加盟大学による、より特色のある魅力的な単位互換科目の提供		(再掲)リ1-(1)-ア		B	平成27年度に行った、特色のある魅力的な科目「プラザ推奨科目」の定義や、「プラザ推奨科目」を提供する大学へ補助金の支給条件等の見直しを踏まえ実行した。その結果平成28年度は21科目をプラザ推奨科目として適用した。	特色ある世界遺産PBL科目の維持拡大のため、平成27年度に変更した「プラザ推奨科目」制度について、世界遺産PBL科目については3年度目となり、来期以降の継続に係る補助制度の整備を行う。	大学コンソーシアム京都	教育事業部
			ウ	単位互換科目受講後の評価システムの検討		(再掲)リ1-(1)-ア		B	単位互換科目の量から質への転換のため学則に基づく科目提供他7項目の評価指標によるガイドラインによる科目提供を促進した結果、精選が促進された科目提供による実施となった。	平成27年度に実施した受講アンケートを分析し提供科目の評価・点検を行う。	大学コンソーシアム京都	教育事業部
			エ	学生などの評価に基づく単位互換科目の改善の仕組みづくり		(再掲)リ1-(1)-ア		B	学生アンケートの集計結果を各大学へフィードバックを行った。また、教育の相互補完と質保証の動きに係る現在の単位互換の課題について検討を始めた。	平成28年度より開始した単位互換の課題検討に係り、加盟校へアンケートを実施し、単位互換の現状と将来的方向性を検討する。	大学コンソーシアム京都	教育事業部
	(2) 「景観と機能の調和」大学施設整備の支援	ア	市有地活用や民有地情報の提供による大学施設の展開・立地の推進	大学施設整備支援事業	大学からの施設整備等についての相談を受け、大学が行う施設整備に技術的な助言等を行うとともに、施設整備に必要な各種手続き等が円滑に進むよう関係各課と調整を行うなど、施設整備の支援・誘導を行う。	H7	B	各大学の相談に応じて市有財産や国有地等の土地情報等を提供した。	各大学の相談に応じて市有財産や国有地等の土地情報等を提供する。	総合企画局	総合政策室大学連携推進担当	
		イ	ワンストップ窓口として、施設構想の段階から整備終了までの一貫した迅速な支援		(再掲)リ1-(2)-ア		B	大学の施設整備の計画に関し、技術的な助言や各種手続きが円滑に進むよう関係者と調整した。	大学の施設整備の計画に関し、技術的な助言や各種手続きが円滑に進むよう関係者と調整する。	総合企画局	総合政策室大学連携推進担当	
		ウ	大学による各種手続きが更に円滑に進むよう、施設整備に関する法令の概要や制度の運用方針などを取りまとめた「京都市大学施設整備支援・誘導のためのガイドプラン」の改訂		(再掲)リ1-(2)-ア		A	・「京都市大学施設整備支援・誘導のためのガイドプラン」を補足するリーフレットを作成した。 ・「京都市大学施設整備支援・誘導に関する取扱要綱」を改正した。		総合企画局	総合政策室大学連携推進担当	
	①	学生の安心・安全に対する意識を高めるための啓発	安心・安全な学生生活を送るためのハンドブックの作成		京都で学ぶ大学生が安心・安全な学生生活を送れるよう、京都府警察との連携のもと、防災、防犯、消費生活、自転車利用マナーなど、日常生活や災害時に気を付けるべきポイントを幅広く掲載したハンドブックを作成する。	H26	A	—	—	総合企画局	総合政策室大学政策担当	
			「京都市わかもの支援センター」によるブラックバイト根絶に向けた「働くルールを知るセミナー」の開催		大学生がブラックバイトの被害に遭わないよう、京都市わかもの就職支援センターや大学へ出向いてワークショップ形式で事例を基に労働法制の基礎知識等を習得できるセミナーを開催する。	H28	B	大学生がブラックバイトの被害に遭わないよう、京都市わかもの就職支援センターに相談窓口を設置するとともに、働くルールを学ぶセミナーや相談会を同センターや大学で実施した。	引き続き、労働局、府等と連携し、ブラックバイト根絶に向けた取組を進めていく。	産業観光局	産業政策課	

「大学・まち・学生 むすぶプラン」の進捗状況(平成29年8月現在)

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	事業開始年度	方向性分類	平成28年度実績	平成29年度計画	局区等	所属		
1 学生が学ぶ環境の充実 (推進施策)	(1) 「安心して安全に学べる京都」の充実	② 災害時における学生の安全の向上と学生の力を活用した支援活動の展開	市内大規模事業所における帰宅困難者対策の推進	「京都市事業所帰宅困難者対策指針」に基づき、大学を含む市内大規模事業所における大規模災害に備えた安全対策や非常用物資の備蓄等の帰宅困難者対策を推進する。	H25	B	大学を含む市内大規模事業所に対する指導を継続するとともに、研修会を開催し、事業所における帰宅困難者対策の充実を図った。研修会に参加した大学等学校施設 15事業所	引き続き大学を含む市内大規模事業所に対する指導を実施するとともに、研修会を開催し、事業所における帰宅困難者対策の充実を図る。	消防局	予防部 予防課		
		③ 学生が犯罪・交通被害・消費者トラブルに遭わない環境づくり	(再掲)推1-(1)-①						—	—	総合企画局	総合政策室 大学政策担当
			花と緑いっぱいのもちづくり推進	上下水道局が実施するイベントや、「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」との連携による各種啓発活動などにおいて、各地域に、花と緑を増やすことにより、防犯力の向上につなげる。	H27	B	「おいしい！大好き！京(みやこ)の水キャンペーン」イベントなどの際、お客さまに花の種や苗をお配りし、各家庭や地域ぐるみで花を育てていただくことにより、まちが美しくなり、安心・安全なまちづくりにも役立つことを紹介した。	「世界一安心安全・おもてなしのまち京都市民ぐるみ推進運動」を展開する文化市民局や各区役所・支所をはじめ、緑化に関する事業に取り組む部局や市民団体等とも連携し、水道水・雨水で花や緑を育てることを啓発するチラシや啓発品の配布等により、花と緑いっぱいのもちづくりを推進していく。 また、一般公開等の上下水道局のイベントにおいても、花の種等を配布し、花と緑いっぱいのもちづくりを呼び掛ける。	上下水道局	総務部総務課		
		④ 障害のある学生など多くの人が学ぶことのできる環境づくり	みやこユニバーサルデザインアドバイザーの派遣	ユニバーサルデザインの考え方を採り入れ、実践しようとする各種団体、学校、企業等に対し、必要な助言や支援を行うことにより、様々な分野や地域における主体的なユニバーサルデザインの取組を促進する。	H18	B	小中学校にアドバイザー派遣(通年)を5回実施。	アドバイザー派遣(通年)	保健福祉局	障害保健福祉推進室		
			障害者移動支援事業	単独で外出が困難な障害のある方へ移動の支援を行う。(大学等への通学の支援を含む。)	S51	B	社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出(学校教育法第1条に規定する大学(国、地方公共団体又は学校法人が設置する大学又は短期大学)又は、同法第124条に規定する専修学校(専門課程及び一般課程に限る。))への通学を含む。)等に対し、移動中の支援等を行う移動支援事業を実施した。 ○支給決定者総数(平成29年3月末時点) 移動支援(身体介護を伴うもの) 3,042名 移動支援(身体介護を伴わないもの) 2,111名 ○実利用者総数 3,823名	引き続き、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出(学校教育法第1条に規定する大学(国、地方公共団体又は学校法人が設置する大学又は短期大学)又は、同法第124条に規定する専修学校(専門課程及び一般課程に限る。))への通学を含む。)等に対し、移動中の支援等を行う移動支援事業を実施する。	保健福祉局	障害保健福祉推進室		
		(2) 学生が京都とふれあい、協働する環境づくり	① 学生が京都の魅力にふれる機会の充実	Student Days	元離宮二条城、京都市美術館、無隣庵など京都の文化施設等への学生の無料で招待する「Student Days(学生証の提示で京都の文化施設へ無料招待)」を実施する。	H21	A	—	—	総合企画局	総合政策室 大学政策担当	
	キャンパス文化パートナーズ制度			市域の大学と連携し、学生が京都の多彩な文化に触れ、体験する機会を提供するとともに、そのための経済的な負担の軽減を図る。	H22	B	主要施設(美術館、動物園、二条城、無鄰菴)利用者数:7,641名	引き続き実施する。	文化市民局	文化芸術企画課		
	京都・和の文化体験の日			日本文化の真髄である京都の文化芸術を次の世代にしっかりと伝えていくため、大学生をはじめとする若者が「和の文化」に触れ、体験し、伝統産業に親しむ機会を提供する。	H26	B	「能楽」を紹介する初心者向けの情報冊子を制作し、市内を中心に、大学・高校や文化施設、カフェ、書店等に配布。また、1～2月にかけて解説付きの能楽公演や伝統工芸ワークショップ等を実施した。	引き続き、和の文化のジャンルからテーマを1つ決め、情報冊子制作とイベントを実施する。	文化市民局	文化芸術企画課		
	② 学生の意見吸収システムの構築		次期計画策定	次期計画を策定する過程において、学生の意見を取り入れる仕組みを構築する。		E	—	次期計画を策定する過程において、学生の意見を取り入れる仕組みを構築する。	総合企画局	総合政策室 大学政策担当		

「大学・まち・学生 むすぶプラン」の進捗状況(平成29年8月現在)

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	事業開始年度	方向性分類	平成28年度実績	平成29年度計画	局区等	所属
		③ 学生が地域の一員として暮らせる環境づくり	きょうと地域力アップ貢献事業者等表彰	自治会・町内会等を中心とする多様な主体の連携による地域コミュニティ活性化への取組を一層推進することを目的に、自治会・町内会等の地域団体が主体となって取り組む地域活動に関して、これと連携・協力し、地域力の向上に貢献している事業者、NPO法人、大学等を顕彰し、自治会・町内会等を中心とする多様な主体の連携による地域コミュニティ活性化への取組を一層推進する。	H25	B	—	地域力アップおうえんフェアで表彰式を実施予定	文化市民局	地域自治推進室
	(3) 大学経営・運営の支援	① 京都FD・SDプログラムの充実	地域内大学連携によるFDの包括研究と共通プログラム開発・組織的運用システムの確立	大学コンソーシアム京都が実施する「FDフォーラム」や「FDセミナー」などイベント型、交流型事業を土台としながら、大学間連携によって具体的で内実のある、また京都で学べることを活かした教育を実施できるFDプログラムの開発・実施を推進する。	H20	B	下記のとおり、FD・SDに関わるプログラムを実施。 ◆京都FD執行部塾 平成28年6月25日 参加者数:39名 ◆新任教員FD合同研修 平成28年9月と翌3月、計2回実施 参加者数:延べ31名 ◆京都FDer塾×大学教育パワーアップセミナー 平成29年1月21日 参加者数99名 ◆第22回FDフォーラム 平成29年3月4日～5日 参加者数:797名 ◆大学職員共同研修 平成28年3月～9月、計8回実施 参加者数:延べ110名 ◆SDワークショップ 平成28年11月～12月、計3回実施 参加者数:延べ29名 ◆第13回SDフォーラム 平成28年10月23日 参加者数:205名 ◆SDゼミナール 平成28年6月～9月 計8回(成果報告会1回を含む) 受講生数:25名	・「FDフォーラム」は加盟大学の情報発信を重視した運営や参加者間の交流、取組の振り返りを行い、分科会の双方向的な運営について、平成29年度も引き続き重視していく。また、階層別FD研修プログラムとして、学長・副学長等の執行部向けの「京都FD執行部塾」、FD担当者向けの「FDer塾」「大学教育パワーアップセミナー」、新任教員向けの「新任教員FD合同研修」を実施する。 ・SD事業にあつては、大学職員共同研修、SDフォーラムを実施する。また、平成27年度から開始した「SDゼミナール」についても、昨年度と同様に講義と公開プレゼンテーションを柱とした企画を実施する。(講師都合により通常7回のところ、8回で実施。)スケールメリットを生かして、スキルアップ、知識の習得および人的交流も積極的に図っていく。	大学コンソーシアム京都	教育開発事業部
		② 大学への寄付の増進	大学への寄付の増進	平成20年度税制改正に基づき、国立大学法人、公立大学法人、学校法人等に対する寄付金を京都市の個人市民税の寄付金控除の対象となる寄付金として指定(※)する仕組みを導入することにより、京都の大学に対する寄付の増進を図り、民間からの大学支援を促進するもの。 ※ 寄付金を受領する団体からの申請に基づき、所得税の寄付金控除の対象となる寄付金のうち、市民の福祉の増進に寄与する寄付金であると認められるものを指定。	H21	B	申請に基づき「京都府公立大学法人」への寄附金を個人市民税の寄付金控除の対象に認定した。 平成28年度末までに市内の大学を有する学校法人等(19法人)を申請に基づき認定している。	引き続き、実施する。	行財政局	税制課
		③ 環境配慮型経営に取り組む大学への支援	大学の自立分散型の再生可能エネルギー設備の導入支援	持続可能な低炭素・エネルギー社会の実現に向けた取組を進めることが、時代の要請に応え、環境に配慮した大学としての価値を高めるものであるとの認識のもと、大学で使用される電気・ガスなどのエネルギーの低減を図る省エネルギーや自立分散型の再生可能エネルギー設備導入に積極的に取り組む大学を支援する。		B	・事業者排出量削減計画書制度の特定事業者(大規模エネルギー使用する大学を含む)向けの省エネ対策セミナーの実施(3月) ・訪問調査による省エネ取組の助言(1大学) ・民生業務部門全般への「省エネ・節電対策」の普及を図る「BEMS普及コンソーシアム京都」において、産学公連携して、エネルギー使用量の削減に向けた調査・研究に取り組んだ。	・訪問調査による省エネ取組の助言(訪問先未定)	環境政策局	地球温暖化対策室
	(4) 多様な大学・学生生活拠点の活用・設置の促進	① キャンパスプラザ京都の利用促進	大学のまち交流センター管理運営	大学における学術研究の成果、その他の知的資産を活用することにより、豊かな地域社会の形成に資するため、大学相互の間及び大学と産業界、地域社会等との間の連携・交流を促進する活動等に供する。	H12	B	利用者満足度の改善のため、老朽化や故障が頻発していたガスヒートポンプ式空調機器(GHP)の改修工事を実施した。	防災設備の改修工事を実施する。	総合企画局	総合政策室 大学政策担当
		② 大学サテライトなどの設置支援		(再掲)リ1-(2)-ア		B	各大学の相談に応じて市有財産や国有地等の土地情報等を提供した。	各大学の相談に応じて市有財産や国有地等の土地情報等を提供する。	総合企画局	総合政策室 大学連携推進担当

「大学・まち・学生 むすぶプラン」の進捗状況(平成29年8月現在)

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	事業開始年度	方向性分類	平成28年度実績	平成29年度計画	局区等	所属	
大学・学生の国際化 (リーディング施策)		ア	京都で学ぶ留学生ならではの視点で「大学のまち京都」の魅力を伝え、留学生誘致につながるPR映像の制作・発信	留学生誘致プロモーション映像の制作	世界中の若者に京都を身近に感じていただくとともに、「京都の大学で学びたい」、「京都で学生生活を送りたい」という思いを持っていただくことで、京都への留学を促進するため、留学生誘致プロモーション映像「Why Choose Kyoto?」を制作する。	H26	A	—	—	総合企画局	総合政策室 大学政策担当
		イ	東南アジアも視野に入れた「京都の大学紹介セミナー」の開催	海外での京都留学フェア開催	留学生スタディ京都ネットワークが「京都留学フェア」を海外で開催し、学生向けのセミナー・個別相談を行うほか、現地の教育機関等の日本留学関係者との交流会を開催する。	H22	C	留学生スタディ京都ネットワークにおいて台湾(台北)に加え、新たに、タイ(バンコク)で「京都留学フェア」を実施。それぞれフェア前日に現地学校関係者との交流会を開催。	留学生スタディ京都ネットワークにおいて香港(香港)、タイ(バンコク)で「京都留学フェア」を実施予定。	総合企画局 大学コンソーシアム京都	総合政策室 大学政策担当
				国内外留学フェアへの京都ブース出展	例年開催されている日本学生支援機構の「日本留学フェア」等に初めて京都ブースを出展し、留学コーディネータが同ブースにおいて大学・日本語学校、留学生支援施策など、京都の留学情報を包括的に発信するとともに、現地の教育機関や留学関連事業者に働きかける。	H27	D	日本学生支援機構の「日本留学フェア」(ベトナム・中国)に京都ブースを出展するとともに、APAIE (Asia Pacific Association of International Education) 総会に参加し、学校関係者との関係構築・京都の留学情報提供を行った。	引き続き、日本学生支援機構の「日本留学フェア」などに京都ブースを出展し、大学・日本語学校、留学生支援施策など、京都の留学情報を包括的に発信する(香港、ベトナムに出展予定)。また、参加希望校の京都ブースへの共同出展を呼びかける。	総合企画局 大学コンソーシアム京都	国際事業部
		ウ	「京都留学サイト」(4言語)の運営	総合ポータルサイトの運営	大学・日本語学校などの学校情報、住宅・就職を含む生活情報など、京都留学に関する総合ポータルサイトを設置・運営する。	H27	C	京都留学総合ポータルサイト「STUDY KYOTO」について、タイ語・ベトナム語を追加するとともに、特集記事の掲載、ニュースレターの配信を開始した。	京都留学総合ポータルサイト「STUDY KYOTO」について、ソーシャルメディア活用を含めたアクセス対策を引き続き行うとともに、学校案内パンフレットのダウンロード機能の付加や動画コンペなどの新規コンテンツを掲載する。	総合企画局 大学コンソーシアム京都	総合政策室 大学政策担当 国際事業部
		エ	市の友好交流都市(姉妹都市、パートナーシティ)や関係機関などとの連携による情報発信	—	京都で学ぶ留学生を誘致するため、本市友好交流都市(姉妹都市、パートナーシティ等)や(一財)自治体交流協会などと連携し、「大学のまち・学生のまち」としての魅力を発信する。	H26	B	本市友好交流都市(姉妹都市、パートナーシティ等)や(一財)自治体交流協会などと連携し、留学生誘致に向けた「大学のまち・学生のまち」としての魅力を発信した。	姉妹都市、パートナーシティ出身の留学生と、市内の高校生を中心とした青少年による「友好都市青少年会議」を開催する。	総合企画局	総合政策室 大学政策担当 国際化推進室
	(2)	ア	大学コンソーシアム京都加盟校の特色ある講義と、伝統文化(禅、生け花、お茶など)、伝統産業、先端産業などの京都体験とを組み合わせた短期留学受入プログラムの開発・実施	「大学のまち京都」の魅力を感じられる短期留学受入事業	日本への留学に関心のある海外の学生が実際に京都を訪れる機会を提供し、多様な大学による特色ある講義や伝統文化、伝統産業、先端産業などの京都体験を通じて京都の奥深い魅力を知ってもらうことで、京都の大学への留学につなげる。	H26	B	「大学のまち京都」の魅力を感じられる短期留学受入プログラムを夏期及び冬期の2回実施した。 【夏季プログラム】 ・日時:平成28年7月24日～8月6日 ・参加者:6箇国17名 【冬季プログラム】 ・日時:平成29年1月15日～1月28日 ・参加者:6箇国19名	短期留学受入プログラムを夏期:平成29年7月、冬期:平成30年1月に実施する。	総合企画局 大学コンソーシアム京都	総合政策室 大学政策担当 国際事業部
		イ	大学コンソーシアム京都が連携している海外の大学コンソーシアムや海外の大学の日本研究センターなどを通じた短期留学受入プログラムの広報	(再掲)リ2-(2)-ア			B	・日本研究等を持った大学等へのEメール及びパンフレット郵送 ・京都留学セミナー、各種留学関連イベントによる情報発信 ・Facebookによる広告掲載 ・京都市海外情報拠点等、関係機関を通じた情報発信など、多様な媒体による情報発信を行った。	引き続き、昨年度実施した広報を継続するとともに、夏季・冬季の参加者からの口コミによる発信を行う。		
		ア	大学コンソーシアム京都における海外の協定大学コンソーシアムとの連携による留学プログラムの実施	多面的な国際交流の充実と高等教育の質向上に向けた国際連携プログラム開発	単独では留学プログラムの開発が困難な中小規模の大学の学生にも、多様なレベルで留学の機会が確保できるよう、(公財)大学コンソーシアム京都が提携を締結しているビクトリア州のコンソーシアム等と連携し、留学派遣プログラムを実施する。	H22	D	単位互換制度を活用し、豪州メルボルンへの留学派遣プログラムを実施した(17名参加)。	引き続き、単位互換制度を活用し、豪州メルボルンへの留学派遣プログラムを実施する。	総合企画局 大学コンソーシアム京都	総合政策室 大学政策担当 国際事業部
		イ	「海外留学派遣プログラム開発支援事業」の実施	海外留学派遣プログラム開発支援事業	京都市域の活性化に役立つ留学プログラムを開発する大学等に対して経費を助成する。	H25	A	(京グローバル大学促進事業開始に伴い、事業終了)	—	総合企画局 大学コンソーシアム京都	総合政策室 大学政策担当 国際事業部

「大学・まち・学生 むすぶプラン」の進捗状況(平成29年8月現在)

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	事業開始年度	方向性分類	平成28年度実績	平成29年度計画	局区等	所属		
	(3)	「世界を見よう」京都で学ぶ学生の海外留学派遣の強化	ウ	大学の留学プログラム実施に係る支援策の検討	「京(みやこ)グローバル大学」促進事業	「大学のまち・学生のまち京都」を世界に発信し、留学生誘致をはじめ、日本人学生の海外留学派遣、海外大学との提携など、大学及び学生の国際化を推進するため、各大学における取組を支援する。	H28	B	各大学において、留学生誘致、日本人学生の海外留学促進、留学生支援体制の構築等に係る事業を実施した。 ・認定:10大学	認定大学において各事業を実施	総合企画局	総合政策室 大学政策担当
					「英語で京都をプレゼンテーション」	大学コンソーシアム京都加盟校の学生のうち、海外留学を検討中又は留学を予定している学生や英語で日本や京都の魅力を発信することに興味がある学生を対象に、英語で京都や日本の魅力を発表できるよう研修事業を実施し、英語によるプレゼンテーション能力の向上、日本文化や京都の奥深い魅力を知り、理解する機会を提供する。	H28	B	以下の概要にて実施した。 【開催日程】平成28年5月21日～7月2日(全6回) 【会場】キャンパスプラザ京都 【対象】TOEIC600以上等 【参加人数】20名 【内容】日本概論、京都概論、伝統文化実技(茶道・華道)、最終プレゼンテーション等	引き続き、5月～7月にかけて昨年度と同様の研修を実施するとともに、募集基準等に満たない学生からの希望を受け、英語レベルが初中級を対象とした英語プレゼン研修についても新たに秋季に実施する。	大学コンソーシアム京都	国際事業部
	(1)	留学生支援機能の強化		留学生ステディ京都ネットワーク	大学、日本語学校、専修学校、経済界、京都府とともに、海外から京都の大学等への留学をオール京都で促進するための組織を運営する。	H27	C	海外からの留学をオール京都で促進するために留学生ステディ京都ネットワークを平成27年5月に設立し、留学生誘致・支援に係る各種事業を実施。新規に京都留学ガイドの作成、留学生向け有給インターシップの実施、留学生向け住宅情報検索サイトの創設等を行った(平成28年度末で90団体が加盟)。	引き続き、ネットワークの活動を進める。なお、平成29年度の新規事業として、留学生動画コンペ、留学生教育旅行支援(試行)、留学生向け満足度調査(試行)などの実施を予定している。	総合企画局 大学コンソーシアム京都	総合政策室 大学政策担当 国際事業部	
					(再掲)リ2-(1)-ウ	C	京都留学総合ポータルサイト「STUDY KYOTO」について、タイ語・ベトナム語を追加するとともに、特集記事の掲載、ニュースレターの配信を開始した。	京都留学総合ポータルサイト「STUDY KYOTO」について、ソーシャルメディア活用を含めたアクセス対策を引き続き行うとともに、学校案内パンフレットのダウンロード機能の付加や動画コンテンツなどの新規コンテンツを掲載する。	総合企画局 大学コンソーシアム京都	総合政策室 大学政策担当 国際事業部		
					(再掲)リ2-(3)-ウ	B	各大学において、留学生誘致、日本人学生の海外留学促進、留学生支援体制の構築等に係る事業を実施した。 ・認定:10大学	認定大学において各事業を実施	総合企画局	総合政策室 大学政策担当		
	①	住宅関連企業による留学生向け住宅斡旋の促進	「外国人のためのお部屋情報 HOUSEnavi」の運営	敷金・礼金がないなど留学生が借りやすい住宅情報を中心に掲載した「外国人のためのお部屋情報 HOUSE navi」を4言語(日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語)で運営。(運営元:(公財)京都市国際交流協会)	H17	B	日本賃貸住宅管理協会京都府支部(日管協)と共同で「外国人のためのお部屋情報 HOUSE navi」を運営した。	引き続き、日本賃貸住宅管理協会京都府支部(日管協)と共同で「外国人のためのお部屋情報 HOUSE navi」を運営する。	総合企画局	国際化推進室		
			京都市空き家活用・流通支援等補助金	現に居住者又は利用者がいない空き家を、留学生又は外国人研究者の住まい等として活用する場合に、改修工事や家財の撤去にかかる費用の一部を補助する。	H26	B	大学等の学生又は留学生等の住まいとして活用する空き家に対して補助金を交付(1件)	引き続き、補助を行う。	都市計画局	まち・再生創造推進室		
			京都市、京都橋大学及び醍醐中山団地庁内連合会の地域連携事業	京都橋大学が、醍醐中山市営住宅の空き住戸を活用し、そこに学生(留学生含む。)がルームシェア形式居住することにより、住民として団地の活動に参加するとともに、大学が、団地内に地域と連携する拠点となる「地域連携センター」の分室を設置・運営し、子育て世帯や高齢者の支援などを行うことで、団地の活性化を目指す。	H27	B	・当団地内にある日本人の学生、留学生がともに住む「国際シェアルーム」に、橋大学に通う日本人学生、外国人留学生が引き続き居住し、国際理解及び社会性の醸成に取り組んだ。 ・当団地内にある「地域連携センター」の分室を、地域連携活動の拠点として活用した。 ・学生団体による、「敬老会」等の団地自治会事業への協力や、団地内住民を対象とした健康相談事業の開催など、子育て世帯や高齢者向けの支援を行った。	在住学生の協調性や社会性の構築、地域活性化等を目指す大学主体の事業の推進を図るとともに、実施場所の提供者として、広範で多角的なサポートをする。	都市計画局	住宅管理課		
	京都市市営住宅(改良住宅)への留学生入居募集	世帯留学生向けに市営住宅を提供する。	H20	B	世帯留学生の住居として改良住宅の空き家整備を実施、大学を通じて入居者を募集した。	世帯留学生に市営住宅を提供することで、国際理解等に向けた活動を支援する。	都市計画局	住宅管理課				

「大学・まち・学生 むすぶプラン」の進捗状況(平成29年8月現在)

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	事業開始年度	方向性分類	平成28年度実績	平成29年度計画	局区等	所属		
2 大学・学生の国際化 (推進施策)	(2) 留学生などに住み良いまちづくり		京都地域留学生住宅保証制度	連帯保証人を見つけることができない京都地域の留学生が「連帯保証人不要」な形で住宅確保ができるよう、京都地域留学生住宅支援機構加盟大学が、制度に賛同していただける協力事業者(仲介業者・管理業者・家主)と協力して留学生を支援す	H22	B	新規利用者数35名	引き続き実施する。	大学コンソーシアム京都	国際事業部		
			大学施設整備支援事業	土地の紹介や土地利用に関する相談を通じた支援を行う。	H7	B	各大学の相談に応じて市有財産や国有地等の土地情報等を提供した。	各大学の相談に応じて市有財産や国有地等の土地情報等を提供する。	総合企画局	総合政策室大学連携推進担当		
		③ 留学生などの生活支援	京都市生活ガイドのホームページでの公開	初めて京都で生活する外国人が安心して暮らせるように、生活上の留意点を説明した「京都市生活ガイド」(日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語)を(公財)京都市国際交流協会のホームページ上で公開する。 ※事業開始当時は紙媒体で配布していたが、平成28年度から紙媒体を廃止し、ホームページ上で公開に一本化した。	H1	B	生活上の留意点を説明した「京都市生活ガイド」(日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語)を(公財)京都市国際交流協会のホームページ上に公開した。	生活上の留意点を説明した「京都市生活ガイド」(日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語)を(公財)京都市国際交流協会のホームページ上に公開する。	総合企画局	国際化推進室		
			外国人留学生国民健康保険料補助事業	留学生の健康を守るため、市内在住の私費留学生を対象に、国民健康保険料の一部を補助する。(実施主体:(公財)京都市国際交流協会)	H6	B	市内在住の私費留学生を対象に、国民健康保険料の一部を補助した。	市内在住の私費留学生を対象に、国民健康保険料の一部を補助する。	総合企画局	総合政策室大学政策担当		
			来日直後の留学生を支援する「ウェルカム・パッケージ」	初めて来日する留学生の生活上の不安をできる限り取り除き、勉学に専心できる環境を整えるとともに、日本人学生等市民との交流を育む契機とするため、来日直後の留学生に必要な行政手続きや生活ルール等に係る情報提供やサポートを行う。	H28	B	ウェルカム・パッケージを実施した(来日直後の留学生への情報提供等を実施)。 ・平成28年春入学ガイダンスの開催 3回(4月) ・平成28年秋入学ガイダンスの開催 9回(9、10月) ・平成29年春入学ガイダンスの開催 2回(3月)	春、秋にウェルカム・パッケージを実施する(来日直後の留学生への情報提供等を実施)。	総合企画局	総合政策室大学政策担当		
		④ 留学生の交流機会の充実	外国人留学生交流等補助事業	留学生を含む市民団体などが主体となっていく留学生との交流活動に対して補助する。		B	留学生の生活を恒常的に支援する事業や、留学生と市民との交流及び相互理解を促進する事業に対し、補助金を交付した。 (28年度交付先) ・(公財)京都「国際学生の家」 ・アジア・アフリカとびっきり映画祭実行委員会 ・ユリイカ百貨店 ・京都こどもてづくりたこあげ大会実行委員会	留学生の生活を恒常的に支援する事業や、留学生と市民との交流及び相互理解を促進する事業に対し、補助金を交付する。	総合企画局	総合政策室大学政策担当		
			京都留学生同窓会	京都で学ぶ留学生やOB・OG、留学生を支援したい日本人の交流機会を提供するため、フェイスブックを活用した情報発信事業を実施する。(公財)京都市国際交流協会に業務委託)	H25	A	フェイスブックを活用した日本語・英語による情報発信を実施した。	—	総合企画局	総合政策室大学政策担当		
		⑤ 留学生の進路・社会進出の支援	(3) 留学生の進路・社会進出の支援	京都を好きになってもらう取組の充実	留学生優待プログラム	市内文化施設等への入場優待やイベントへの無料招待を実施する。(公財)京都市国際交流協会に業務委託)	H21	B	市内文化施設等への入場優待やイベントへの無料招待を実施した。	市内文化施設等への入場優待やイベントへの無料招待を実施する。	総合企画局	総合政策室大学政策担当
				外国人留学生のための就職ガイダンス&ジョブフェア	日本での就職を目指す留学生に対し、就職活動に関する情報の提供や採用担当者と直接面談ができる説明会を実施する。(実施主体:(公財)京都市国際交流協会)	H19	B	留学生向けのキャリアガイダンス&ジョブフェアを開催した。	留学生向けのキャリアガイダンス&ジョブフェアを開催した。	総合企画局	総合政策室大学政策担当	
				留学生いきいき人材バンク(kokoka留学生ねっと)、World Stageの運営	留学生を対象に、社会活動などの情報を掲載するウェブサイト運営する。(実施主体:(公財)京都市国際交流協会)	H22	B	留学生を対象に、社会活動などの情報を掲載するウェブサイト運営した。	引き続き、留学生を対象に、社会活動などの情報を掲載するウェブサイト運営する。	総合企画局	国際化推進室	
	留学生向け有給インターンシップ事業			京都地域在住留学生の、京都地域の企業(特に中小企業)の事業内容の理解を促進し、留学生と企業の相互理解による、採用促進及び就職後の定着を図る。(実施主体:留学生スタディ京都ネットワーク)	H28	B	15社へ7の国と地域・22名(うち2名途中辞退)の留学生がインターンを実施した。	留学生向け有給インターンシップを実施する。	総合企画局	総合政策室大学政策担当		

「大学・まち・学生 むすぶプラン」の進捗状況(平成29年8月現在)

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	事業開始年度	方向性分類	平成28年度実績	平成29年度計画	局区等	所属	
3	学生の進路・社会進出の支援(リーディング施策)	「未来の京都を担う」京都企業と連携した人財育成	留学生の就職支援・マッチング事業	京都の大学に在籍する留学生と京都企業を対象とした、求人・求職の情報提供・あっせんを行うウェブサイトを開設し、就職・採用の機会を創出(マッチング)するとともに、セミナーや交流会を開催し、地元企業への就職の機運を醸成する	H29	E	—	京都の大学に在籍する留学生と京都企業を対象とした、求人・求職の情報提供・あっせんを行うウェブサイトを開設する。セミナーや交流会を開催する。	総合企画局	総合政策室 大学政策担当	
			大学職員の国際化の支援	職員向け英語スキルアップ研修	大学コンソーシアム京都加盟校の職員を対象に、英語力向上のための研修を行う。	H26	B	大学教職員向けに英語研修を実施した。(計6回)	参加者からのアンケート等によるニーズを反映し、既存の2講座を、「TOEIC新形式対応学習法セミナー」と「Meeting and Discussion」に振り替え、引き続き実施する(計6回)。	大学コンソーシアム京都	国際事業部
			海外との学術教育研究の交流促進					B	米国州立大学連合が主催する「全米日本研究セミナー」参加者と京都の大学との交流会(交換留学の可能性等)を実施した。	海外の学校関係者等が京都を訪問する機会や、留学フェアで他国の学校を訪問する機会などをいかして、大学連携組織間の交流、大学間の交流を促進する。	大学コンソーシアム京都
		「京都で働く」京都企業と学生のマッチングの促進	京都で学ぶ学生や留学生からなる学生チームと京都企業との連携プロジェクトの実施	京都企業と連携した次代の京都を担う人財の育成事業	大学や国籍の垣根を超えた多様な学生・留学生がチームで、京都企業と連携して課題に取り組むPBLプログラムを実施する。	H26	B	留学生を含む学生のチームが、京都企業と連携したPBL(Project-Based Learning:課題解決型学習)により、企業の提示する課題の解決や学生から企業への提案などに取り組んだ。 (28年度実績値) ・プロジェクト数:10 ・参加者:10大学,63名(うち、留学生14名)	留学生を含む学生のチームが、京都企業と連携したPBL(Project-Based Learning:課題解決型学習)により、企業の提示する課題の解決や学生から企業への提案などに取り組む。	総合企画局	総合政策室 大学政策担当
			プロジェクトを通じた、留学生を含む学生の職業観の育成と京都企業への就職の意識づけ	(再掲)リ3-(1)-ア			B	留学生を含む学生のチームが、京都企業と連携したPBL(Project-Based Learning:課題解決型学習)により、企業の提示する課題の解決や学生から企業への提案などに取り組んだ。 (28年度実績値) ・プロジェクト数:10 ・参加者:10大学,63名(うち、留学生14名)	留学生を含む学生のチームが、京都企業と連携したPBL(Project-Based Learning:課題解決型学習)により、企業の提示する課題の解決や学生から企業への提案などに取り組む。	総合企画局	総合政策室 大学政策担当
		「京都企業・就業情報データベース(京のまち企業訪問)」の充実	・京都企業・就業情報データベースシステムの運営 ・京都企業魅力発信「京のまち企業訪問」運営事業	学生をはじめとする求職者等に京都企業の魅力を広く知ってもらい、京都の企業への就職に結びつけるため、企業情報データベースを作成し、インターネット等を活用して情報発信を行う。	H21	B	28年度からは「京都中小企業担い手確保・定着支援事業」の中で、新規掲載企業の開拓や掲載記事の更新を行ったほか、より見やすく利用しやすいWEBページとなるよう改修を行った。掲載企業数は、153社増加し、合計3,760社となった。	引き続き、新規掲載企業の開拓や掲載記事の更新を行う。また、3月に実施したWEBページの改修について、企業・求職者への周知を強化するとともに、見やすく利用しやすいWEBページとなるよう、適宜改善を加えていく。	産業観光局	産業政策課	
		「京都企業・就業情報データベース(京のまち企業訪問)」掲載企業による合同企業説明会の実施	・京都企業・就業情報データベースシステムの運営 ・京都企業魅力発信「京のまち企業訪問」運営事業	「京都企業・就業情報データベース(京のまち企業訪問)」登録企業による合同企業説明会や個別企業説明会、業界研究会等を実施する。	H23	B	・労働局、府等とともに、合同企業説明会を共催(5回)	引き続き、労働局、府等と連携し、合同企業説明会や企業と求職者の交流会を行う。	産業観光局	産業政策課	
			「京都市わかもの就職支援センター」を拠点とした個別カウンセリングや就職支援セミナー等の実施	「京都中小企業担い手確保定着・支援事業」の取組として、「京都市わかもの就職支援センター」を拠点に、市内中小企業の魅力発信から学生等の求職者と京都の中小企業との交流・マッチング支援、若手従業員の定着支援までを一貫して実施する。	H28	B	平成28年4月にキャンパスプラザ京都に「京都市わかもの就職支援センター」を設置し、中小企業情報WEBサイトによる学生に向けた情報発信や、大学への出張セミナー、京都企業を取材しその魅力を発信するインターンシップ事業などのほか、セミナーの開催など、定着支援の取組を実施した。 市内中小企業への就職者数(正規雇用):168名	引き続き、府、ジョブパーク等と連携のうえ、京都企業と学生の交流促進等の取組を行う。	産業観光局	産業政策課	
			「京都市わかもの就職支援センター」によるインターンシップ事業の推進	「京都中小企業担い手確保定着・支援事業」の取組として、低年次の学生を京都市わかもの就職支援センターがインターンシップ生として受入れ、わかもの視点で市内の中小企業を取材し、ウェブ発信することで、学生の中小企業に対する理解や職業観の醸成を図る。	H28	B	京都市わかもの就職支援センターがインターンシップ生を受入れ、市内の中小企業を取材し、成果報告会やWEBによる情報発信を行った。 取材先企業数:10社、参加学生数18名	28年度と同様の取組を実施予定。	産業観光局	産業政策課	

「大学・まち・学生 むすぶプラン」の進捗状況(平成29年8月現在)

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	事業開始年度	方向性分類	平成28年度実績	平成29年度計画	局区等	所属	
			首都圏をはじめとする求職者に対する中小企業の魅力発信事業	首都圏在住の京都出身の若者などが、京都の観光関連産業の中小企業を取材し、彼らの視点でその魅力を編集し、東京での取材成果報告会を実施するほか、合同企業説明会などで広く発信する。	H29	E		8～9月に首都圏在住の若者等が京都の観光関連産業の企業を取材し、秋以降に成果報告会、WEB上での成果発信、取材結果をまとめた冊子の配架等を行う。	産業観光局	産業政策課	
			京都市フルカバー学生等就職支援事業の推進	京都市フルカバー学生等就職支援事業 大学等が提供するインターンシップ制度等の機会に恵まれない学生や既卒者等に対して、就職に向けた人材育成研修や個別キャリアカウンセリングを実施し、既卒者や大学生等の意識改革から就職までの支援を行う。	H23	B	平成28年4月にキャンパスプラザ京都に「京都市わかもの就職支援センター」を設置し、中小企業情報WEBサイトによる学生に向けた情報発信や、大学への出張セミナー、京都企業を取材しその魅力を発信するインターンシップ事業などの取組を実施した。 市内中小企業への就職者数(正規雇用):168名	28年度と同様の取組を実施予定。	産業観光局	産業政策課	
				(再掲)リ3-(2)		E			産業観光局	産業政策課	
			①								
			②	段階的に職業観を育むキャリア教育の推進	スチューデントシティ・ファイナンスパーク 施設内に再現した実際の「街」の中で、子どもたちが、接客や販売等、一人の大人として働くことや収入と支出を踏まえた生活設計の構築を通して、社会と自分の関わり、経済の仕組み、働くことの意義を学ぶ活動をしている。児童・生徒の活動にあたっては、市民、学生、保護者をはじめ企業・団体等のボランティアの協力を得て進めている。	H18	B	・スチューデントシティ学習…全市立小学校164校(実施対象児童がいない小学校1校及び実施学年移行措置中の小学校1校を除く)9,877名が参加。 ・ファイナンスパーク学習…市立中学校65校と総合支援学校6校の計71校7,087名が参加予定。	教育委員会事務局	京都まなびの街生き方探究館企画推進室	
				生き方探究・チャレンジ体験推進事業	中学生が自ら学び、自ら考える力などの「生きる力」を身につけるとともに、集団や社会の一員としての自己の在り方と生き方を考えるきっかけを生み出すため、生徒の興味・関心に応じた勤労体験・職場体験、ボランティア体験などの社会体験活動を実施する。	H12	B	3,563事業所において、全市立中学校73校と総合支援学校5校、計78校9,654名が参加。	教育委員会事務局	京都まなびの街生き方探究館企画推進室	
			③	大学コンソーシアム京都インターンシップの充実	大学コンソーシアム京都インターンシッププログラム 大学コンソーシアム京都が実施するインターンシッププログラムの実習生を受け入れる。	H10	B	パブリックコース実習生受入 受入期間 8月15日～9月2日, 23職場, 27名	パブリックコース実習生受入 受入期間8月14日～9月1日, 19職場, 20名	総合企画局	総合政策室大学政策担当
			(1)	大学卒業後の多様な選択肢を描ける人財育成の推進							
				RELEASE;	社会的課題に関心を持ち「何とかしたい」と考えている大学生や若者、新たな手法を模索する行政、社会貢献という視点で新たな事業展開を図る企業の3者が集い、意見交換会や現地調査等を経てビジネスアイデアを練り上げる。	H26	B	「RELEASE;」のプログラムを活用し、京都府家具組合連合会の課題解決手法調査を実施。勉強会を5回開催し、8企業のべ92名が参加した。 これまでの「RELEASE;」で生み出されたアイデアの具体化として、IKEUCHI ORGANIC(株)がオーガニック・ベビーブランケットを(株)坂ノ途中が無農薬・無化学肥料の野菜セットをそれぞれ山科区・中京区の新生児に対して無償提供する「イチバンギフト」を実施した。	産業観光局	産業政策課	
				京都市ソーシャルビジネス支援事業	まちづくりや商店街の振興、高齢者対策や子育て支援、環境保護対策など様々な社会に存在する課題(社会的課題)を継続的に収益を確保しつつ、解決していこうとする事業主体であるソーシャルビジネスが成長するための基盤を構築する。		B	「京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター構想」のもと、「これからの1000年を紡ぐ企業認定」の運営、社会的企業をトータルで育成する経営支援、イノベーションキュレーター育成、ビジネスアイデア学習プログラム「RELEASE;」の充実、京都市ソーシャルイノベーション研究所の運営、ソーシャル・イノベーション・サミットの開催等を行った。	産業観光局	産業政策課	
			④	学生のベンチャー・ソーシャルビジネスマインドの育成	ビジネス総合力養成講座『京都D-school』 京都地域における起業や新事業の創出を促進させ、地域産業や経済の活性化を図ることを目的に、主に京都市内の中小企業者を対象としたビジネス総合力養成講座を開催する。	H22	B	平成28年度は全11日間のセミナーを開催した。 開催期間:平成28年5月21日～平成29年2月18日(平成28年4月23日はオープニングセッション、平成29年3月18日は成果発表会)	セミナーを開催する。	産業観光局	新産業振興室
3	学生の進路・社会進出の支援(推進施策)										

「大学・まち・学生 むすぶプラン」の進捗状況(平成29年8月現在)

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	事業開始年度	方向性分類	平成28年度実績	平成29年度計画	局区等	所属	
			京おんな塾	店舗開業や地域に密着したソーシャルビジネス等での起業を目指す女性を対象に、それぞれの夢の実現を目指すため、起業に必要な基礎知識を習得するための講義や、先輩起業家の体験談を聞くなどのカリキュラムを実施する。また、専門家に起業内容や起業方法のアドバイスを受けながら、自身のビジネスプランを構築する。		A	事業終了のため、実績なし。		産業観光局	新産業振興室	
			京都スタートアップカレッジ	起業への関心がある学生や若手社会人から構成されるチームを対象に、起業、ソーシャルビジネス、エンジニア、ファイナンス等の各分野の専門家による講義及び指導等によるサポートのもと、グループワークでビジネスプランを発表するコンテストを行い、起業へつなげていく実践的なプログラムを実施する。	H26	A	平成28年度は全6日間のセミナーを開催した。開催期間：平成28年11月5日～平成28年12月3日(平成28年10月15日はオープニングイベント、平成28年12月10日はビジネスプレゼンテーション)		産業観光局	新産業振興室	
			(2) ニーズに対応した就業マッチングの促進	(再掲)リ3-(2)-イ			B	・労働局、府等とともに、合同企業説明会を共催(5回)	引き続き、労働局、府等と連携し、合同企業説明会や企業と求職者の交流会を行う。	産業観光局	産業政策課
			(3) 進路カバーアップの推進	(再掲)推3-(1)-①			B	各種セミナー(春期・夏期集中セミナー、企業人との座談会、エントリー直前対策等)や個別カウンセリングを実施		産業観光局	産業政策課
(1)	「京都発イノベーション」大学との連携によるものづくり技術の継承・発展	ア 「京都市成長産業創造センター」における産学共同研究プロジェクトの推進	京都市成長産業創造センターでの取組の推進	大学・研究機関、企業等の産学公が連携し、最先端の大学の技術シーズを着実に事業化につなげる研究プロジェクトを推進して、「グリーン・イノベーション」(環境エネルギー分野革新)と「ライフ・イノベーション」(医療・介護分野革新)を実現し、付加価値の高い高機能性化学品を生み出すとともに、その成果を地元の中小企業に橋渡しすることにより、京都市域における産業競争力の確保と新規事業の創出を図る。また、人材育成や産学公の交流の場を提供し、幅広い情報交流の促進と新たな連携の創出を図る。	H25	B	・大学の最先端の研究成果を着実に事業化につなげる研究プロジェクトを推進した。 ・定期フォーラム(8月):54名 ・入居者勉強会(12月):11名 ・3周年記念フォーラム(11月):83名 等	・大学の最先端の研究成果を着実に事業化につなげる研究プロジェクトを推進 ・定期フォーラム ・入居者勉強会 ・4周年記念フォーラム 等	産業観光局	新産業振興室	
			地域イノベーション戦略支援プログラム	産学公連携のための大学等の機能強化、地域における産学公共同研究、地域の大学間ネットワークの形成、先端的な融合領域における研究開発拠点形成等を通じて、地域が主体的に実施するイノベーション創出のためのシステム整備を図ることを目的としたプログラムであり、知的財産の形成や人材育成など、地域の自立的・主体的な活動展開に対する支援を行う。	H25	B	環境・エネルギー分野における産学公連携による事業化推進等を実施した。	環境・エネルギー分野における産学公連携による事業化推進等の実施を予定している。	産業観光局	新産業振興室	
			スーパークラスタープログラム	これまで各地域で取り組まれてきた地域科学技術振興施策の研究成果を活かしつつ、社会ニーズ、マーケットニーズに基づき国主導で選択と集中、ベストマッチを行い、国際競争力の高い広域連携による「スーパークラスター」を形成することを目的としている。さらに、本事業は10年程度を見通した将来ビジョンに基づき、成熟したコアクラスターの成果のうち、要素技術に留まっていた研究開発課題をサテライトクラスターとの連携により技術を高度化し、その基盤を一層強化するとともに、事業化の実現を図るため、産学の広域連携により取組を進める。	H25	B	環境・エネルギー分野における産学公連携による事業化推進等を実施した。	環境・エネルギー分野における産学公連携による事業化推進等の実施を予定している。	産業観光局	新産業振興室	

「大学・まち・学生 むすぶプラン」の進捗状況(平成29年8月現在)

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	事業開始年度	方向性分類	平成28年度実績	平成29年度計画	局区等	所属			
4	大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化(リーディング施策)	(2) 「飛び出す大学」大学と地域の連携・コーディネートの仕組みの充実	ウ	京都産学公共同研究拠点「知恵の輪」における地域の大学との共同研究推進	地域産学官共同研究拠点整備事業		「京都バイオ産業創出支援プロジェクト」等による産学公のネットワークを生かし、酒造業界をはじめとする食品・試薬・計測機器等の産業に係る研究開発プロジェクトを推進する。	H23	B	<ul style="list-style-type: none"> 高度研究機器を活用した大学、企業等との共同プロジェクトを推進した。 先端研究機器に精通した高度技術者等育成(人材育成セミナー等の実施) 参加者:409人 京都バイオ計測センターシンポジウムを開催(8月) 参加者:107人 先端光加工プロジェクト公開セミナーを開催(1回) 参加者:39人 	<ul style="list-style-type: none"> 高度研究機器を活用した大学、企業等との共同プロジェクトを推進 先端研究機器に精通した高度技術者等の育成(人材育成セミナー等の実施) 京都バイオ計測センターシンポジウムを開催予定 先端光加工プロジェクトセミナーを開催予定 	産業観光局	新産業振興室
			ア	京都市の部局や区役所と大学との協定締結による連携事業の推進		京都市と大学の連携事業を推進する。	—	B	平成29年3月現在、238件の協定を締結。	引き続き、大学と連携した取組の推進に努める。	総合企画局	総合政策室 大学政策担当	
			イ	地域による主体的なまちづくりを支援する「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」における大学・学生枠の設置などによる事業の推進	区民提案・共汗型まちづくり支援事業	柔軟で活気に満ちた若い力を地域の課題解決や地域活性化にいかすとともに、地域社会との関わりの中で得られる学びの機会を創出すること等を目的として、「区民提案型支援事業」に学生等への支援枠を設け、「共汗型事業」では学生をはじめとした若者と連携した事業を展開する。	H24	B	<ul style="list-style-type: none"> 地域と大学・学生が協力したことにより、地域の活性化や子育て支援、世代を超えた交流など様々な事業が行われた。 また、未来の地域の担い手となる人材や地域に関心を持つきっかけづくりの場を提供することができた。 		文化市民局	地域自治推進室	
			ウ	地域活性化や課題解決に向けた大学と地域の一体的な取組を支援し、学生の学びの機会を創出する「学まちコラボ事業」の推進	大学地域連携創造支援事業	魅力ある地域づくりや地域の課題解決に向けて、大学・学生と地域が一体となって取り組む事業を広く募集し、助成金を交付するとともに、他の地域のモデルとして応用、展開を図る。助成金額は「一般枠」1件につき30万円以内、10～15件程度、「文化枠」1件につき45万円以内、2件程度を認定予定。	H16	C	<ul style="list-style-type: none"> 申請30事業のうち、18事業を採択し、事業を推進。 ワークショップ、子どもフェスタ、夏祭り、ウォーキングマップの作成などに取り組み、自治会と学生が協働で、地域住民のニーズに対応しつつ活性化に資する活動を行う事業を優秀賞として表彰した。 	<ul style="list-style-type: none"> 申請のあった31事業(一般枠27件、文化枠4件)に対し、選考を行い、一般枠10～15件程度、文化枠1～2件程度の事業を採択し、事業を推進する。 	総合企画局 大学コンソーシアム京都	総合政策室 大学政策担当 調査・広報事業部	
			エ	京都の大学に設置された社会連携センター、地域連携センターなどのネットワークづくり、大学と地域とを繋ぐマッチング・コーディネートの仕組みづくり	大学・地域連携サミット	大学コンソーシアム京都加盟校における地域連携の事例や、学まちコラボ事業等における大学・地域連携の事例を広く発信するとともに、地域連携活動に関わる学生、大学教職員、地域団体等が交流する機会として開催する。	H28	B	平成28年11月6日(日)にキャンパスプラザ京都で開催し、山崎亮氏(studio-L代表)による講演と「学まち連携大学」促進事業の採択大学による事例発表(6大学)、ポスターセッション(14団体参加)を実施した。	引き続き、「大学・地域連携サミット」を開催する。	総合企画局 大学コンソーシアム京都	総合政策室 大学政策担当 調査・広報事業部	
			オ	文部科学省「地(知)の拠点整備事業」採択校との連携と、今後申請する大学への助言・提案など支援の推進	地(知)の拠点大学	大学が企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援する。	H25	B	<ul style="list-style-type: none"> 25年度に採択された京都大学、京都工芸繊維大学のCOC事業実行本部に参画。 市長が京都大学COC事業の「京都創造論」においてゲスト講義。 	引き続き連携して事業を推進する。	総合企画局	総合政策室 大学政策担当	
						「学まち連携大学」促進事業	地域社会との関わりの中で得られる学生の学びと成長の機会を創出するため、ゼミ単位や学生グループの活動を支援する「学まちコラボ事業」で実施してきたものを、大学・短期大学を挙げた取組として発展させるべく、大学・短期大学を挙げた地域連携の取組を促し、支援する。	H28	B	<ul style="list-style-type: none"> 11大学から申請があり、6大学(大谷、京都教育、京都女子、京都橘、同志社女子、龍谷)を認定し、認定された大学の大学・短期大学を挙げた地域連携の取組を、支援した。 	引き続き、認定された大学の大学・短期大学を挙げた地域連携の取組を支援する。	総合企画局 大学コンソーシアム京都	総合政策室 大学政策担当 調査・広報事業部
						京都産学公連携機構	京都における産学公のあらゆる機関が相互に情報を共有しながら連携と協働を進めるための基盤として設立された「京都産学公連携機構」に分担金を支出するなど、同機構が実施する事業を支援する。	H15	B	<ul style="list-style-type: none"> 総会の開催 文理融合・文系産学連携促進事業の実施(文理融合または文系分野の産学連携の取組に対し助成金を交付) 社文系産学連携の創出の加速(大企業の開放特許を活用する社文系産学連携プロジェクトに取り組む大学のプロセス、情報を共有化) 京都イノベーション推進フォーラムの開催 産学連携コーディネータ交流会の開催 ホームページ、メールマガジン(随時)による情報発信 等 	<ul style="list-style-type: none"> 総会の開催 京都「大学の知恵」活用認定制度の推進 「産学公連携・京都モデル」の調査・発信 ホームページ、メールマガジン(随時)による情報発信 等 	産業観光局	新産業振興室
					① 産学公連携コーディネートの機能								

「大学・まち・学生 むすぶプラン」の進捗状況(平成29年8月現在)

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	事業開始年度	方向性分類	平成28年度実績	平成29年度計画	局区等	所属	
	(1) 産学公の連携による京都経済の活性化	② 文系学部と企業の連携強化	の向上	京都市ライフィノベーション創出支援センター	大学及び中小ベンチャー企業等の技術シーズ、医療機関等のニーズの発掘に常時取り組むとともに、有望な研究テーマについては大学・企業等との連携の下、事業化に向けて、産学連携のコーディネート活動を行うほか、国等の研究開発プロジェクト等に位置付けられるよう伴走支援を行う。 大学発のシーズの事業化を進めるため、大学発ベンチャーの設立支援等も含め、発掘から事業化が見込める段階までの伴走支援を行う。	H22	B	・センター長、コーディネーターを中心にコーディネート活動を実施 ・京都発革新的医療技術研究開発助成事業 応募 81件 採択 27件(5月) ・京都市ライフィノベーション創出支援センターセミナーを実施(2回) 参加者:延べ157人 ・京都市ライフィノベーション創出支援センターシンポジウムを実施(11月、2月) 参加者:延べ289人 ・社会人のためのバイオ入門講座を実施(4回) 参加者:延べ100人	・センター長、コーディネーターを中心にコーディネート活動を実施 ・京都発革新的医療技術研究開発助成事業を推進(21件程度採択予定) ・シンポジウムを実施予定 ・社会人のためのバイオ入門講座を実施予定	産業観光局	新産業振興室
			文理融合・文系産学連携促進事業	文理融合・文系分野において産学公連携により研究を推進するグループに助成金を交付することで、研究活動を支援し、研究開発プロジェクトや事業化へのステップアップを図る。	H26	A	文理融合・文系産学連携促進事業の実施した(文理融合または文系分野の産学連携の取組に対し助成金を交付)。	H28年度で、事業終了	産業観光局	新産業振興室	
			京都観光経営学講座	他社・他地域に負けない個性を磨き上げるに必要な経営戦略、マーケティング、ICT戦略など、これからの観光経営に必要なノウハウを、観光業界で実際に働く社会人向けに、わかりやすく提供する。	H24	B	平成28年度は、平成27年度に引き続き経営・マーケティング専門家や同分野に関連する有識者等を講師とした講座を開催した。また、新たに講座専用のウェブサイトを作成し、33名が受講した。	経営・マーケティング専門家や同分野に関連する有識者等を講師とした講座を引き続き実施する。	産業観光局	観光MICE推進室	
		③ 大学をいかした国内外コンベンションの誘致支援	京都市大規模国際コンベンション開催支援助成事業	本市への誘致が特に重要で意義があると判断される会議について、主催者に対する財政支援を行い、戦略的な誘致を強化する。 助成対象は、参加者が500名以上かつ参加国数が3箇国以上で参加者のうち海外参加者が100名以上の国際的な大規模会議。	H15	B	世界考古学会議 第8回大会(300万)、第27回生体磁気共鳴国際会議(250万)、IAEA核融合エネルギー会議(250万)の3件に対し助成した。	第23回世界神経会議(300万)、2017年国際アルツハイマー病協会国際会議(400万)、第15回国際材料研究学会連合 先進材料国際会議(250万)の3件に対し助成予定。	産業観光局	観光MICE推進室	
			コンベンション推進事業	京都で開催される公共性の高い国際会議に支援を行うコンベンション受入支援事業。	H16	B	第13回STSフォーラム(科学技術と人類の未来に関するフォーラム)開催を支援した。(600万円)	第14回STSフォーラム(科学技術と人類の未来に関するフォーラム)開催を支援する。(600万円)	産業観光局	観光MICE推進室	
			大規模国際会議誘致助成事業	大規模国際会議の誘致に際し、広報宣伝などのプロモーション経費等を、京都での国際会議の開催を検討している各種団体等に助成金として支給し、国際MICE都市としての地位の更なる向上を目指す(助成金上限:1会議当たり100万円)。	H22	B	大規模国際コンベンションを対象に、京都への会議の誘致に係る、広告宣伝費、印刷製本費、会場借上費等の経費を助成した。(3件、350,000円)	大規模国際コンベンションを対象に、京都への会議の誘致に係る、広告宣伝費、印刷製本費、会場借上費等の経費を助成する。	産業観光局	観光MICE推進室	
		④ 国内外の高度人材との交流の推進による新たな価値の創造の促進	京都・高度人材交流拠点構想(仮称)の策定	京都発の知的交流の場に国内外における世界トップレベルの優れた人材を呼び込み、新たなビジネスの創出や企業間のオープン・イノベーション、グローバル人材の育成、世界的な人的ネットワークの形成等を図る。	H23	B	関係機関等と協議を行った。	関係機関等と引き続き協議を行う予定。	産業観光局	新産業振興室	
		(2) 教育・研究分野の新展開を目指す大学との連携強化			大学の教育・研究分野の新展開に関する情報を早い段階から共有し、京都市の施策との連携促進につなげる。		B	大学との情報共有、連携強化に努めた。	引き続き、大学との情報共有、連携強化に努める。	総合企画局	総合政策室 大学政策担当

「大学・まち・学生 むすぶプラン」の進捗状況(平成29年8月現在)

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	事業開始年度	方向性分類	平成28年度実績	平成29年度計画	局区等	所属	
4	大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化(推進施策)	③ 地学公の連携による地域課題への対応	① 地域の問題解決につながる都市政策研究の推進	未来の京都創造研究事業	大学コンソーシアム京都と協働して、未来の京都づくりに向けた政策を立案するための調査・研究を実施するとともに、若手をはじめとした市政を支える研究者等の発掘・育成とネットワーク形成を図る。	H20	A	—	—	総合企画局 大学コンソーシアム京都	総合政策室大学政策担当 調査・広報事業部
				大学の知を活かした多角的な市政研究事業	京都ならではの大学の知を、京都市の政策・施策に反映していくため、大学の研究グループからなるユニットを構築して多角的な観点から調査研究を行う(研究期間は2年を予定)。	H28	B	指定テーマ「文化を活かした京都の活性化」について、4つの分野別テーマを研究する複数のユニットからなる研究グループを募集し、京都大学の研究グループを採択した。(研究期間:平成30年3月まで)	引き続き、調査研究を実施し、中間報告書の提出と成果報告会を開催する。	総合企画局 大学コンソーシアム京都	総合政策室大学政策担当 調査・広報事業部
			② 地学公連携の市民への周知	地域連携ウェブサイトの運営	大学の地域貢献や地域と大学との協働による事業を紹介する。	H24	B	大学コンソーシアム京都加盟校の地域連携事例を、財団ホームページに掲載した。	引き続き、加盟校に事例の提供を依頼し、ホームページの情報更新を行う。	大学コンソーシアム京都	調査・広報事業部
		④ 小中高大(院)連携の推進	① 高大連携の強化	京都の大学『学び』フォーラム	京都府内を中心とした高校1・2年生、ならびにその保護者を主な対象とし、当財団加盟大学・短期大学の特色ある模擬講義・体験型講座、大学生との交流企画、その他の企画等を通じて、大学での「学び」の魅力を積極的に伝え、高校生が自らの進路を考える機会を提供することで、高校生の学習意欲の喚起・進学意識の向上を目指すとともに、高等学校・大学の学びの円滑な接続に繋げることを目的に実施するもの。	H14	A	—	—	大学コンソーシアム京都	教育開発事業部
					② 市立小中学校・高校と大学の連携強化	「学生ボランティア」学校サポート事業	「大学のまち・京都」の特性を活かし、大学との連携のもと、教職を目指す学生を中心としたボランティアを学校・幼稚園に派遣し、各教科やクラブ活動の指導補助などの様々な支援を行っている。一人一人の子どもに対するきめ細かな指導が充実し学校教育活動が一層活性化するとともに、教職を目指す学生の意欲・資質を高めることにより、将来の学校教育を担う教員の確保と養成に資する。	H15	B	113大学・短期大学・専門学校と協定締結 213校 24,869回活動	大学との連携をさらに深めるとともに、各学校のニーズにあったボランティアの確保に向け、ポスターやチラシの配布等広報活動の充実に努める。
			③ 産学公連携による京都市らしい教育システムの構築	京都教育懇話会	京都の産学公とメディアで組織され、次世代の教育についてのあり方、人材育成の方向性を模索し、先進的な取組を京都から全国へ発信していく。	—	B	・京都教育懇話会4回実施 ・京都21世紀教育創造フォーラムの実施 ・高校生プレゼンコンテストの実施	・京都教育懇話会4回実施(予定) ・京都21世紀教育創造フォーラムの実施 ・プレゼンコンテストの実施(予定)	教育委員会	学校指導課
	京都子どもモノづくり事業				「ものづくり都市・京都」の特性を生かし、産学公連携のもと、平成21年2月に生き方探究館内に開設した京都の企業創業者・科学者等の努力や情熱を紹介・展示する「京都モノづくりの殿堂・工房」での体験学習、「京少年モノづくり倶楽部」、「至高の動くおもちゃづくりトイ・コンテストグランプリ」などの事業を通じて、小中学生がモノづくりを学び・体験する機会を創出する。	H19	B	・京都モノづくりの殿堂・工房学習…市立小学校161校(154回)と総合支援学校3校(3回)、計164校(157回)10,098名が参加。 ・殿堂の一般公開…延べ2,328名が来館。 ・京少年少女モノづくり倶楽部…85講座延べ3,349名が参加。 ・第11回「至高の動くおもちゃづくり」トイ・コンテストグランプリ…小学校3～6年生122校722名が参加。	・京都モノづくりの殿堂・工房学習…市立小学校159校(154回)と総合支援学校3校(3回)、計162校(157回)10,196名が参加予定。 ・殿堂の一般公開…延べ約2,500名が来館予定。 ・京少年少女モノづくり倶楽部ホームページ開設。 ・第12回「至高の動くおもちゃづくり」トイ・コンテストグランプリ…小学校3～6年生約500名が参加予定。	教育委員会	京都まなびの街 生き方探究館

「大学・まち・学生 むすぶプラン」の進捗状況(平成29年8月現在)

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	事業開始年度	方向性分類	平成28年度実績	平成29年度計画	局区等	所属
5	大学をいかした芸術文化環境の向上	① 芸術系大学の集積をいかした芸術文化力の向上	駅ナカアートプロジェクト	京都市内の芸術系大学等と連携し、地下鉄駅に芸術系大学生の作品を展示する。	H23	B	・京都精華大学・京都工芸繊維大学・京都府立大学・大谷大学・京都教育大学・京都女子大学・京都橋大学・京都造形芸術大学・京都市立芸術大学・嵯峨美術大学が参加。 ・市バスアートの実施。 ・平成29年3月21日～5月31日実施。	平成30年3月頃から5月頃まで実施予定。	交通局	高速鉄道部営業課
		② 歴史・文化の蓄積をいかした社会人向け学習機会の提供	京カレッジ	京都地域の大学・短期大学による大学講義、市民教養講座、キャリアアップ講座、京都力養成コースなどを市民の方も受講できる生涯学習事業。 (平成9年度から(公財)大学コンソーシアム京都と共同で実施、平成19年度から京カレッジに改編)	H19	B	「大学リレー講座」を新規開講するなど、京都ならではの、市民が気軽に受講できる生涯学習事業を展開した。 ・科目提供大学:34大学・2機関 ・提供科目数:449科目 ・出願者数:1,946人	文化力・地域力の向上を目的とする「教養力養成コース」の新設など、引き続き、市民の方が気軽に参加できる事業を展開する。	総合企画局	総合政策室大学政策担当
		③ 文化芸術教育プログラムの推進	Art-e Kyoto	芸術系5大学(京都嵯峨美術大学、京都市立芸術大学、京都精華大学、京都造形芸術大学、成安造形大学)と京都市立小・中学校が、それぞれの教育資源を生かし、美術教育の充実や、芸術を大切にする風土づくりを目指して連携を行う。		B	・京都芸術教育フォーラムの開催 ・連携協議会を3回開催 ・京都子どもアート探検ラリーを開催	・京都芸術教育フォーラムの開催 ・連携協議会を3回開催 ・京都子どもアート探検ラリーを開催	教育委員会	学校指導課
		④ 若手芸術家・クリエイターの育成	東山アーティスト・プレースメント・サービス(HAPS)	若手芸術家を対象に、既存の町家や倉庫、公的住宅、小学校跡地施設や公共空間等を利用して、若手芸術家が京都のまちなかに居住し、活動しつづけることができる環境を整え、新しい創作の活力をまちの活力につなげる。	H20	B	①居住・制作支援事業 居住・制作スペースを必要とする芸術家と、空き家所有者とを結ぶマッチングを実施し、平成28年度居住実績は5件であった。 ②芸術家育成事業 第一線で活躍する芸術家、キュレーター等幅広い分野から講師を招き、芸術家として必要なスキルを学ぶ講座を実施した。 ③芸術家自立支援事業・情報発信事業 京都にいなから芸術家として活躍の場を国内外に広げる機会を提供するキュレーター招聘及びWebサイト上での情報発信を実施し、3名のキュレーターを招聘した。 ④相談対応 オフィスやウェブ上で芸術家や家主等の様々な相談に対応し、サポートを行った。 平成28年度の総相談件数は261件であった。	引き続き、若手芸術家を対象とした、居住・制作・発表の場を与えることのできる、京都のまちを活用した事業を実施。	文化市民局	文化芸術企画課
			京都版トキワ荘プロジェクト	京町家を活用して、安価なシェアハウスを漫画家志望者(含む学生)に提供したり、出張編集部やマンガ家向け講習会の開催等を通して、マンガ家志望者がプロとなっていきっかけを提供できるコミュニティ作りを行う。	H24	B	・マンガ家志望者向けの人材育成拠点「京都版トキワ荘」を運営。 ・首都圏等からマンガ出版社を呼び、原稿を持ち込む機会を創出する「マンガ出張編集部(参加者数:362人、出展者数:17出版社、69編集部)」などマンガ家志望者のスキルアップ支援を実施。	・「育成拠点の整備・運営」については、当初からの予定通り、平成28年度をもって本市からの支援は終了し、民間事業者によって運営。 ・「スキルアップ支援」については、より幅広く京都在住のマンガ家育成支援に注力することをめざし、マンガ出張編集部や国際マンガコンテスト等を実施。	産業観光局	新産業振興室

「大学・まち・学生 むすぶプラン」の進捗状況(平成29年8月現在)

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	事業開始年度	方向性分類	平成28年度実績	平成29年度計画	局区等	所属	
5	学生が持つエネルギーをいかした京都力の強化(リーディング施策)	(1) 「一人一人が輝く」学生の主体的活動の促進策	ア 京都学生祭典, 京都国際学生映画祭など, 学生が主体となって運営する活動の支援	京都学生祭典	大学の枠を超えた京都の学生の力を集約し, 行政・経済界・大学界・地域社会と連携を図った上で「学生のまち・京都」を社会へ発信し, それに伴う京都全体への波及効果を創出することで京都中の活性化に繋げ, 新しい魅力をこのまちに映し出すことをめざして活動を行う。	H21	C	第14回を迎えた京都学生祭典は「学生による京都四大祭りへの挑戦」をテーマに活動を行った。京都学生祭典の理念である「学生の力を遺憾なく発揮」できるような場・機会をより多く学生に提供することをめざし, 京都学生祭典当日は「あなたに贈る, 学生が本気で輝く晴れ舞台」を企画コンセプトとして, ファッションやアートなど芸術系分野を含めた様々な分野の学生にも今まで以上に参加可能な取組とした。 《日 時》 平成28年10月9日(日) 11:00~19:00 《会 場》 平安神宮前・岡崎プロムナード(京都市左京区) 《来場者数》 約12万7,000人(実行委員会調べ)	「『京都学生文化』の創出」をテーマに掲げ, 年間を通じた活動を行う。テーマに即し, 「東アジア文化都市」「大政奉還150周年記念プロジェクト」等の文化事業との連携を図る。 また, 第15回という節目の年の取組として6月に京都学園大学京都太秦キャンパスで, 8月に京都駅ビル・京都駅前地下街Portaで「京都学生祭典15thアニバーサリーフェスタ」を開催する。 そのうえで, 10月の京都学生祭典当日は, 第15回という節目を記念し, 「京都学生祭典のキセキを感じる日」をテーマとして, ファッションやアートなど芸術系分野を含めた様々な分野の学生にも今まで以上に参加できる京都学生祭典でしかみられない学生プロデュースの企画を実施する。 《日 時》 平成29年10月8日(日) 11:00~19:00 《会 場》 平安神宮前・岡崎プロムナード(京都市左京区) 《企画内容》 ①京炎 そでふれ! 全国おどりコンテスト ②ファッション企画 ③音楽企画 ④縁日企画 ⑤こども企画 ⑥ブース企画 ⑦京炎みこしパレード等	大学コンソーシアム京都	学生交流事業部
				京都国際学生映画祭	上映機会の少ない学生が制作した自主映画を世界各地より集め, 上映する機会を学生が創り出すことを通じて, 学生が成長する機会を創出し続け, 人生を変える程の気付きを与える事業。	H9	B	第19回京都国際学生映画祭を平成28年11月26日(土)から12月2日(金)までの7日間, 京都シネマ(京都市下京区)で開催した。 第19回の映画祭には, 作品募集においてWeb受付も可能としたことにより, 前年比約2.5倍の41ヶ国539作品(国内167作品, 海外372作品)の応募があった。映画祭では最終選考を経た16作品を上映し, 各部門と最終審査員賞, 観客賞の発表と表彰式を行った。映画祭の来場者は延べ540名(13プログラム合計, 実行委員会調べ)。 京都から学生映画監督の発掘, 映画文化の発信, 映画を通じた国際交流の創出を目的に, 第20回京都国際学生映画祭を開催する。映画祭の企画運営は, 学生による実行委員会が担う。コンペティションを3月から4月に行い, 最終審査を経て上映会, 表彰式を催す。 ＜以下, 予定＞ 《開催日》 平成29年11月25日(土)~12月1日(金) 《会 場》 京都シネマ(京都市下京区・COCON烏丸3F)	大学コンソーシアム京都	学生交流事業部	
				学生や学生グループの活動を支援する「輝く学生応援プロジェクト」の充実	輝く学生応援プロジェクト 学生が大学の枠を超えて行う, 京都のまちの活性化につながる活動に対し, 総合的な支援を行う。 ・ミーティングブースや, 活動に必要な備品等の貸し出し。 ・活動に資する様々な情報や市政情報等を提供するとともに, 学生の活動内容を掲示するなど情報発信を行う。また, 活動する学生が交流する機会の提供や助言, 相談を行う。 ・学生の活動と地域のニーズとのマッチング, 連携を支援する。(むすぶネット)	H21	D	事業概要に記載の取組等により, 学生が大学の枠を超えて行う, 京都のまちの活性化につながる活動に対し, 総合的な支援を行うとともに, 「学生ボランティアチャレンジ」については, 募集定員を, 2倍に増やし実施した。 ＜学生の活動拠点登録団体数＞ 31団体 ＜むすぶネットマッチング件数＞ 22件 ＜学生ボランティアチャレンジ参加者数＞ 46名(前期), 48名(後期)	引き続き, 学生が大学の枠を超えて行う, 京都のまちの活性化につながる活動に対し, 総合的な支援を行うとともに, 新たに, むすぶネットに登録する学生団体と地域団体による交流会を開催する。	総合企画局	総合政策室 大学政策担当
①	学生の活動を	学生が活動するフィールドの拡充	(再掲)リ4-(2)-ウ	(再掲)リ4-(2)-ウ	C	申請30事業のうち, 18事業を採択し, 事業を推進。 ワークショップ, 子どもフェスタ, 夏祭り, ウォーキングマップの作成などに取り組み, 自治会と学生が協働で, 地域住民のニーズに対応しつつ活性化に資する活動を行う事業を優秀賞として表彰した。	申請のあった31事業(一般枠27件, 文化枠4件)に対し, 選考を行い, 一般枠10~15件程度, 文化枠1~2件程度の事業を採択し, 事業を推進する。	総合企画局 大学コンソーシアム京都	総合政策室 大学政策担当 調査・広報事業部		
			(再掲)推4-(3)-②	(再掲)推4-(3)-②	B	大学コンソーシアム京都加盟校の地域連携事例を, 大学コンソーシアム京都ホームページに掲載した。	引き続き, 加盟校に事例の提供を依頼し, ホームページの情報更新を行う。	大学コンソーシアム京都	調査・広報事業部		

「大学・まち・学生 むすぶプラン」の進捗状況(平成29年8月現在)

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	事業開始年度	方向性分類	平成28年度実績	平成29年度計画	局区等	所属
5 学生が持つエネルギーをいかした京都力の強化(推進施策)	(1) 促進する仕組みの充実	② 学生の市政への参画の促進	青少年モニター制度について	「青少年モニター」の募集を行い、市政の幅広い分野において、意見募集を行い、青少年が市政やまちづくりに参加する機会を増やし、社会への参加意識を高めるとともに、青少年の視点と意見を市政に反映させる。	H23	B	登録:51名 アンケート:3回実施(3テーマ) ワークショップ:2回実施(2テーマ)	引き続き、実施予定	子ども若者はぐくみ局	育成推進課
			政策系大学・大学院研究交流大会	本財団加盟大学の都市政策を学ぶ大学生・大学院生が中心となって、日頃の研究や学習の成果の発表を通じて交流を深めるとともに、地域社会に対して政策提案、情報発信の場となることを目的としている。	H17	B	第12回大会を12月4日に開催し、口頭発表65組、パネル発表18組と過去最高を記録した。本大会が政策系学部を有する大学に浸透したといえる。今後は発表の質や参加大学の拡大が求められる。	第13回大会を平成29年12月に開催する。発表者数の削減と政策提言に重点を置いた発表とすることで発表者の質の確保を図る。また、学生実行委員による学生企画等、学生の市政への参画を促す活動を支援する。	大学コンソーシアム京都	調査・広報事業部
	① 防災、安心・安全の取組	京都学生消防サポーター	市内の大学・短大生等を対象に防火・防災研修を行うとともに、一定の知識・技能を有すると認められた者に「京都学生消防サポーターライセンス」を付与することにより、学生のまち・京都ならではの特性をいかして地域防災力の向上を図る。	H19	B	1 ライセンス取得者総数 222名 2 活動回数/延べ人数 27回/456名 3 主な活動 ・研修活動 学生サポーターライセンス研修(防火防災研修、普通救命講習)の実施 ・実践活動 京都市消防出初式参加、京都市総合防災訓練、京都御所テロ災害対応訓練、祇園祭消防警備、京都マラソン消防警備、東近畿救助技術指導会運営補助、市内各消防署が行う普通救命講習指導等	・学生に対する学生サポーターライセンス研修(防火防災研修、普通救命講習)の実施及びライセンスの付与(研修後に効果測定を実施し、一定の知識及び技能を取得したと認められた者にライセンスを付与する。) ・京都学生消防サポーターライセンス取得者に対し、防火・防災に関する情報その他活動に必要な情報を提供する。 ・消防団との連携強化を図るとともに、消防団への加入を促す。	消防局	総務部 消防団課	
		消防団入団促進事業	若者の消防団への入団促進を図ることで、消防団の活性化、充実強化を図るため、以下取組を実施。 1 消防団員の入団資格の拡充 「京都市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例」を改正し、市外に居住する学生も市内に通学していれば入団できるよう入団資格を拡充。 2 消防団防災ハイスchoolの実施 消防団員が地元の高等学校に出向き、放水活動やAEDの取扱いなど消防団活動の体験を中心とした防災教育を行う「消防団ハイスchool」を開始。 3 学生認証制度の創設 大学等に通学しながら消防団活動に取り組む、地域社会へ貢献した大学生等の功績を認証する学生消防団活動認証制度を開始。 4 消防団充実強化実行チームによる入団促進 消防団全体の活性化を図るため若手消防団員を中心として結成された消防団充実強化実行チームのメンバーが大学やターミナル駅等に出向いて入団勧奨活動を実施。	H27	B	学生消防団員が平成28年4月1日111名から平成29年4月1日135名と24名増加。 ・消防団防災ハイスchoolを22回開催し、2,632名が参加。 ・学生認証制度15名を認証。 ・消防団充実強化実行チームによる入団勧奨を8大学で実施。	消防団防災ハイスchoolの実施や、消防団充実強化実行チームによる学生の入団勧奨等を通じて、更なる学生消防団員の確保に努める。	消防局	総務部 消防団課	
		学生防犯ボランティアへの支援	「互いに助け合う、犯罪や事故が少ないまち」を目指し、大学生への支援と連携を進めるため、学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」への支援などを行う。 ※学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」自主防犯活動への参加を希望する大学生を対象に、京都府警察が設けた学生ボランティア登録制度	H23	B	学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」に対して、防犯パトロールなどの学生防犯活動に対して補助金を交付するなど、大学生との支援と連携を進めた。	学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」に対して、防犯パトロールなどの学生防犯活動に対して補助金を交付するなど、大学生との支援と連携を進める。	文化市民局	くらし安全推進課	
		② 環境にやさしい取組	「DO YOU KYOTO?」プロジェクトと「KYO-SENSE」プロジェクトの連携	京都学生祭典において、平成20年度に発足した京都に古くから伝わる伝統的な知恵を現代に活かす若者の感性で学び直し、新しいライフスタイルの提案を目指すプロジェクトと、地球温暖化対策室や循環型社会推進部が連携した取組を行う。	H20	B	・地域の環境問題に取り組む打ち水活動(8月@三条・平安神宮) ・地域の美化を目指したクリーンアップ活動(月2回程度) ・DO YOU KYOTO?ホームページをリニューアルし、大学生のエコなライフスタイルに関するページを設け、普及促進を図った。	ライフスタイルに関し、引き続き関係局との連携も含め実施することとする。	大学コンソーシアム京都 環境政策局	学生交流事業部 地球温暖化対策室
	テーマごとの学									

「大学・まち・学生 むすぶプラン」の進捗状況(平成29年8月現在)

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	事業開始年度	方向性分類	平成28年度実績	平成29年度計画	局区等	所属	
	(2) 生の活動の促進	③ コミュニティの活性化	京都学生祭典実行委員会による夜警活動	毎月5日・20日に岡崎・梅逕地域の夜間パトロールに参加。地域・消防分団と一緒に地域の安全に貢献している。地域との交流を深め、本祭への協力を図る。		B	毎月5日・20日に岡崎・梅逕地域の夜間パトロールに参加し、地域・消防分団と一緒に地域の安全に貢献している。それにより地域との交流を深め、本祭への来場にもつながった。	今年も毎月5日・20日に岡崎・梅逕地域の夜間パトロールに参加し、地域・消防分団と一緒に地域の安全に貢献することで地域との交流を深め、本祭への協力につなげる。	大学コンソーシアム京都	学生交流事業部	
			自治会等への加入促進 (きょうと地域力アップ貢献事業者等表彰)	自治会・町内会等を中心とする多様な主体の連携による地域コミュニティ活性化への取組を一層推進することを目的に、自治会・町内会等の地域団体が主体となって取り組む地域活動に関して、これと連携・協力し、地域力の向上に貢献している事業者、NPO法人、大学等を顕彰し、自治会・町内会等を中心とする多様な主体の連携による地域コミュニティ活性化への取組を一層推進する。	H25	B	—	地域力アップおうえんフェアで表彰式を実施予定	文化市民局	地域自治推進室	
			自治会等への加入促進 (大学・専修学校新入生向けチラシの配布)	大学・専修学校への入学生に対し、自治会・町内会への加入促進、地域活動への参加をはじめ、選挙権年齢引下げに伴う住民票の異動等と呼び掛けるチラシを配布する。	H28	B	4月に配布(約4万枚)	4月に配布(約4万枚)	文化市民局	地域自治推進室	
			京都学生祭典実行委員会による地域活性化プロジェクト	京都学生祭典と地域活性をめざす行政や地域団体が連携し、京都学生祭典の理念である地域の活性化を実現する。連携団体やプロジェクトについては公募で募集し、京都学生祭典のイベントとして取り組む。	H28	C	Part.1「京都学生祭典イベントin伏見」 【開催日時】平成28年5月21日(土)10:00~16:00 【開催場所】伏見港公園、伏見大手筋商店街 【来場者数】15,686人(実行委員会調べ) 【連携先】公益財団法人京都府公園公社 伏見港公園管理事務所、伏見大手筋商店街振興組合、京阪電気鉄道株式会社 Part.2「京都学生祭典イベントin出町柳」 【開催日時】平成28年7月9日(土)11:30~17:00 ※7月8・9日18:00~22:00、出町柳形商店街にて七夕夜市開催。 【開催場所】出町柳形商店街、下鴨神社、鴨川公園一帯(案)、京阪本線貸切列車内 【来場者数】3,330人(実行委員会調べ) 【連携先】出町柳形商店街振興組合、京阪電気鉄道株式会社	地域活性化プロジェクトは平成28年度単年の取組として終了。平成29年度は京都学生祭典が15回の節目を迎えるため、「京都学生祭典15thアニバーサリーフェスタ」として下記のとおり行政や地域団体、企業と連携事業を実施する。 Part.1「京都学生祭典15thアニバーサリーフェスタin右京feat.地下鉄東西線20周年記念」 【開催日時】平成29年6月4日(日)11:00~16:00 【開催場所】京都学園大学京都太秦キャンパス 【連携先】京都学園大学、京都市交通局、右京区役所、社会医療法人太秦病院 Part.2「京都学生祭典15thアニバーサリーフェスタin京都駅ビル&京都駅前地下街Porta」 【開催日時】平成29年8月27日(日)13:00~17:00(調整中) 【開催場所】京都駅ビル(室町小路広場、駅前広場)、京都駅前地下街Porta 【連携先】京都駅ビル開発㈱、京都ステーションセンター㈱	大学コンソーシアム京都	学生交流事業部	
			(再掲)推2-(2)-②	B	大学等の学生又は留学生等の住まいとして活用する空き家に対して補助金を交付(1件)	引き続き、補助を行う。	都市計画局	まち再生・創造推進室			
6	プロモーション戦略の強化 (リーディング施策)	ア	民間旅行事業者との連携による、大学生が修学旅行生などを案内するキャンパスツアーの実施	街全体がキャンパス学びの都 京都B&Sプロジェクト	京都を訪れる修学旅行生等に対し、京都の現役大学生が観光地や大学キャンパスなどを一緒に街歩きし、京都の魅力を紹介する新しい教育旅行プログラム「京都B&Sプログラム」の実施。	H26	B	民間旅行事業者と連携して大学生が修学旅行生などを案内する京都観光&キャンパスツアーを実施した。 ・参加数 22校 3,039人(中学校18校、高校4校) ・全国の中学校・高等学校延べ5,277校へDM発送	民間旅行事業者と連携して大学生が修学旅行生などを案内する京都観光&キャンパスツアーを実施する。 ・目標数 30校 5,000人 ・全国の中学校、高校、教育委員会、校長会、旅行代理店等への訪問による告知活動	産業観光局 大学コンソーシアム京都	観光MICE推進室 調査・広報事業部
			PR戦略と連動した、学生が主体となった効果的な広報手法の検討	京都学生広報部	大学生の視点で企画・取材・撮影・記事作成した「中高生に伝えたい京都のリアルな情報」をウェブサイトやSNS等で発信する。	H27	B	・京都の大学生による全国の中高生に向けた記事の掲載、SNS等での発信。 ・京都学生祭典の本祭の縁日企画にて「古都カレ」を販売し、京都産業大学とコラボレーションし、PR動画を制作した。 ・平成29年3月31日までの累計PVは159,969。	引き続き、京都の大学生による全国の中高生に向けた記事の掲載を行っていく。	総合企画局 大学コンソーシアム京都	総合政策室 調査・広報事業部
			日本人学生や留学生などの対象ごと、関西・関西以外などの地域ごとのアンケートやヒアリングなどによる学生の意向・ニーズ調査の実施	大学のまち京都・学生のまち京都推進会議プロモーション専門部会	「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力を再検証するとともに、効果的なPRや広報活動につなげるため、必要な取組等を具体的に検討する。	H26	A	—	—	総合企画局 大学コンソーシアム京都	総合政策室 調査・広報事業部

